



# 平成19年3月期中間決算概況と 今後の事業展開について

Speciality Chemical Partner



## 荒川化学工業株式会社

## 目 次

- 1 . 平成 1 9 年 3 月期中間決算概況と通期の予想
- 2 . セグメント別情報
- 3 . 設備投資等
- 4 . 株主還元策
- 5 . 新規事業
- 6 . 国際展開
- 7 . 連結体制の強化について

参考資料 . 会社・事業概要、

中期 5 カ年経営計画の進捗と展望 等



# 1. 平成19年3月期中間決算概況と今期の予想

## 1-1. 決算概要

(単位：百万円)		H17/9	H18/9	増減額	増減%	H19/3(予)
売上高	(連結)	27,001	29,868	+2,866	+10.6	59,500
	(単独)	23,416	24,887	+1,470	+6.3	49,700
営業利益	(連結)	1,109	1,284	+174	+15.7	2,610
	(単独)	598	567	30	5.2	1,340
経常利益	(連結)	1,261	1,402	+140	+11.2	2,850
	(単独)	874	961	+87	+10.0	2,000
当期純利益	(連結)	732	821	+89	+12.2	1,600
	(単独)	608	689	+81	+13.4	1,300
総資産	(連結)	56,724	63,378	+1,365	+2.2	65,820
	(単独)	50,483	55,733	+2,074	+3.9	57,160
自己資本	(連結)	31,611	34,676	+10	+0.0	35,860
	(単独)	30,140	32,853	72	0.2	33,830



## 1 - 2 . 損益項目

(単位：百万円)		H17/9	H18/9	増減額	増減%	H19/3(予)
販売費及び 一般管理費	(連結)	4,703	4,940	236	5.0	9,930
	(単独)	3,711	3,773	62	1.7	7,830
営業外収益	(連結)	191	206	15	8.1	370
	(単独)	298	446	147	49.5	720
営業外費用	(連結)	39	88	49	125.6	130
	(単独)	22	52	29	131.1	60
特別利益	(連結)	4	10	5	129.2	30
	(単独)	2	3	1	58.6	30
特別損失	(連結)	18	10	8	44.8	35
	(単独)	15	7	8	52.2	32



# 1 - 3 . 経営指標等

		H17/9	H18/9	H19/3(予)
自己資本比率 (%)	(連結)	55.7	54.7	54.5
	(単独)	59.7	58.9	59.2
株主資本利益率 (%) ( R O E )	(連結)	2.4	2.4	4.5
	(単独)	2.1	2.1	3.9
売上高営業利益率 (%)	(連結)	4.1	4.3	4.4
	(単独)	2.6	2.3	2.7
売上高経常利益率 (%)	(連結)	4.7	4.7	4.8
	(単独)	3.7	3.9	4.0
一株当り当期純利益率 ( E P S ) ( 円 )	(連結)	46.38	40.79	79.42
	(単独)	38.53	34.25	64.53
一株当り純資産 ( B P S ) ( 円 )	(連結)	2,002.35	1,721.66	1,780.00
	(単独)	1,909.21	1,631.14	1,680.00
株価収益率 ( P E R ) ( 倍 )	(連結)	37.4	30.6	-
	(単独)	45.0	36.4	-



# 1 - 4 . キャッシュフロー計算書 ( 連結 )



( 単位 : 百万円 )	H17/9	H18/9	増減額	増減%	H19/3(予)
営業活動による キャッシュフロー	983	794	1,778	180.8	2,300
税金等調整前 当期純利益	1,247	1,402	155	12.4	2,845
減価償却費	747	883	136	18.2	1,850
法人税等の支払額	622	635	13	2.1	1,200
投資活動による キャッシュフロー	2,476	986	1,490	60.2	2,400
固定資産取得等 による支出	2,433	1,393	1,040	42.7	2,750
財務活動による キャッシュフロー	475	460	14	3.1	300
現金及び現金同等物 の期末残高	4,300	2,414	1,886	43.9	3,900

Speciality Chemical Partner



# 1 - 5 . 業績予想



(単位：百万円)		H18/3		H19/3		前年比 (通期)	
		上期	通期	上期 (実績)	通期 (予)	増減額	増減%
売上高	(連結)	27,001	55,991	29,868	59,500	+ 3,508	+ 6.3
	(単独)	23,416	48,183	24,887	49,700	+ 1,516	+ 3.1
営業利益	(連結)	1,109	2,254	1,284	2,610	+ 355	+ 15.8
	(単独)	598	1,158	567	1,340	+ 181	+ 15.7
経常利益	(連結)	1,261	2,563	1,402	2,850	+ 286	+ 11.2
	(単独)	874	1,885	961	2,000	+ 114	+ 6.1
当期純利益	(連結)	732	1,329	821	1,600	+ 270	+ 20.4
	(単独)	608	1,243	689	1,300	+ 56	+ 4.6
営業利益率	(連結)	4.1	4.0	4.3	4.4	-	-
	(単独)	2.6	2.4	2.3	2.7	-	-
経常利益率	(連結)	4.7	4.6	4.7	4.8	-	-
	(単独)	3.7	3.9	3.9	4.0	-	-

Speciality Chemical Partner



## 2 . セグメント別情報

### 2 - 1 . 連結セグメント別概況 ( 1 ) 製紙用薬品事業

#### [紙・パルプ業界動向]

平成18年4～9月の紙の生産量は前年同期比+0.6%、一方板紙は同 0.3%となり、全体で+0.3%。(日本製紙連合会統計資料より当社算出)  
 参考：製紙用サイズ剤・紙力剤の添加率 0.3～1% (対パルプ固形)

#### 製紙用薬品事業 (平成18年9月期)

塗工紙用薬品が減少したものの、サイズ剤、粘着ラベルなどの剥離紙に使用されるシリコン樹脂の販売が伸長。海外の子会社においても、南通荒川化学の販売が貢献したことなどから売上が増加。利益面では製品価格の改定は国内外の原料化各上昇分を吸収するには至らなかったものの、中国における現地生産化や製品コストの削減などにより増益。

(単位：百万円)		H17/9	H18/9	増減額	増減%	H19/3(予)
製紙用薬品	売上高	10,532	10,641	+109	+1.0	22,070
	営業利益	372	510	+138	+37.1	840
	営業利益率	3.5%	4.8%	-	-	3.8%





## 2 - 1 . 連結セグメント別概況 ( 2 ) 工業用樹脂事業



### [印刷インキ業界動向]

平成18年4～8月の印刷インキは堅調に推移した。生産量は、全体で前期比+1.0%でグラビアは0.3%。一方平版インキは+3.8%、新聞インキは+3.6%で好調。(経済産業省化学工業統計より当社算出)

参考：平版インキ中のインキ用樹脂の割合 25～30%

### [粘着・接着剤業界動向]

平成18年4～6月の粘着・接着剤はほぼ横ばいであった。生産量は、全体で前期比+0.9%(日本接着剤工業会統計より当社算出)

参考：テープ・ラベル用粘着剤への樹脂添加率 20～40%(固形比)

### [電子工業業界動向]

平成18年1月～平成18年7月の民生用電子機器の生産実績(金額)は前期比+9.9%、電子部品の生産量は+14.3%。

(経済産業省 生産動態統計より当社算出)

参考：日本ペルノックス製品は電子工業業界に幅広く使用され、また精密部品・電子デバイス等の洗浄には当社洗浄剤が使用されている

Speciality Chemical Partner



## 2 - 1 . 連結セグメント別概況 ( 2 ) 工業用樹脂事業



### 工業用樹脂 (平成18年9月期)

オフセットインキ用樹脂や合成ゴム重合用乳化剤、また環境に配慮した光硬化型樹脂や塗料用樹脂の販売が順調に推移。新規分野では、精密部品洗浄剤、超淡色ロジン、電子材料用樹脂の売上が伸長。日本ペルノックスはエレクトロニクス用エポキシ樹脂製品などをはじめとして売上が拡大。海外の子会社では売上が増加。利益面では、製品価格の改定は国内外とも原材料価格上昇分を吸収するまでには至らなかったものの、高付加価値製品の拡販などにより増益。

(単位：百万円)		H17/9	H18/9	増減額	増減%	H19/3(予)
工業用樹脂	売上高	16,050	18,825	+2,775	+17.3	36,320
	営業利益	700	743	+43	+6.1	1,670
	営業利益率	4.4%	3.9%	-	-	4.6%

### その他 (平成18年9月期)

洗浄装置の売上が減少し、減収減益。

(単位：百万円)		H17/3	H18/9	増減額	増減%	H19/3(予)
その他	売上高	419	400	18	4.4	1,110
	営業利益	36	29	6	17.8	100
	営業利益率	8.6%	7.3%	-	-	9.0%

## 2 - 2 . セグメント別売上高 ( 単独 )



( 単位 : 百万円 )	H17/9	H18/9	増減額	増減%	H19/3(予)
製 紙 用 薬 品	6,572	6,683	111	1.7	13,550
印刷インキ・塗料用 樹脂及び合成ゴム重 合 用 乳 化 剤	6,355	7,514	1,159	18.2	14,250
粘着・接着剤用樹脂	2,952	3,203	251	8.5	6,250
電 子 材 料 他	2,111	2,650	538	25.5	5,200
製 品 計	17,992	20,052	2,060	11.5	39,250
商 品	5,423	4,834	589	10.9	10,450
合 計	23,416	24,887	1,470	6.3	49,700

S p e c i a l i t y C h e m i c a l P a r t n e r



### 3 . 設備投資等

(単位：百万円)		H17/9	H18/9	増減額	増減%	H19/3(予)
設備投資額 (完工ベース)	(連結)	1,313	529	784	59.7	2,190
	(単独)	1,186	266	920	77.6	1,730
設備投資額 (キャッシュフローベース)	(連結)	2,433	1,393	1,040	42.7	2,750
	(単独)	1,499	530	968	64.6	1,730
減価償却費	(連結)	747	883	+136	+18.2	1,850
	(単独)	549	554	+5	+1.1	1,280
研究開発費	(連結)	1,168	1,150	17	1.5	2,500
	(単独)	982	972	9	1.0	2,120

#### H19/3 主な設備投資計画 (完工ベース)

- ・塗料・コーティング用樹脂などの工業用樹脂設備増強 500百万円
- ・高圧化学：電子材料用樹脂製造設備増強 200百万円

#### H20/3 主な設備投資計画 (完工ベース)

- ・日本ペルノックス：本社、工場、  
および開発センター建設 1,500百万円

**\* 中期5ヵ年経営計画中の設備投資額15,000百万円を予定**

Speciality Chemical Partner



## 4 . 株主還元策

安定的な配当を維持しつつ、積極的な株主還元策に取り組む。

平成19年3月期配当予定

中間配当 10円 + 期末配当 10円 計20円

(平成18年4月1日で、1:1.2の分割を実施済)

平成18年3月期配当

中間配当 10円 + 期末配当 10円 計20円

平成17年3月期配当

中間配当 9円 + 期末配当 11円 計20円

	H14/3	H15/3	H16/3	H17/3	H18/3	H19/3(予)
1株当たり 配当金(円)	15.00	18.00	18.00	20.00	20.00	20.00
普通配当	15.00	15.00	18.00	20.00	20.00	20.00
記念配当	-	3.00	-	-	-	-
配当性向(%)	58.0	59.3	20.6	19.7	26.1	31.0

Specialty Chemical Partner

## 5 . 新規事業

### 5 - 1 . 光硬化型樹脂（ビームセット）

- 紫外線、電子線で硬化 -  
 高機能性、無溶剤化、速硬化性=高生産性=省エネ

**機能性コーティング用途**  
 携帯電話、ディスプレイ  
 IC生産工程用  
**環境・省エネ対応**  
 スリップ防止塗料  
 金属インキ、クリアワニス  
 木工塗料、水系化

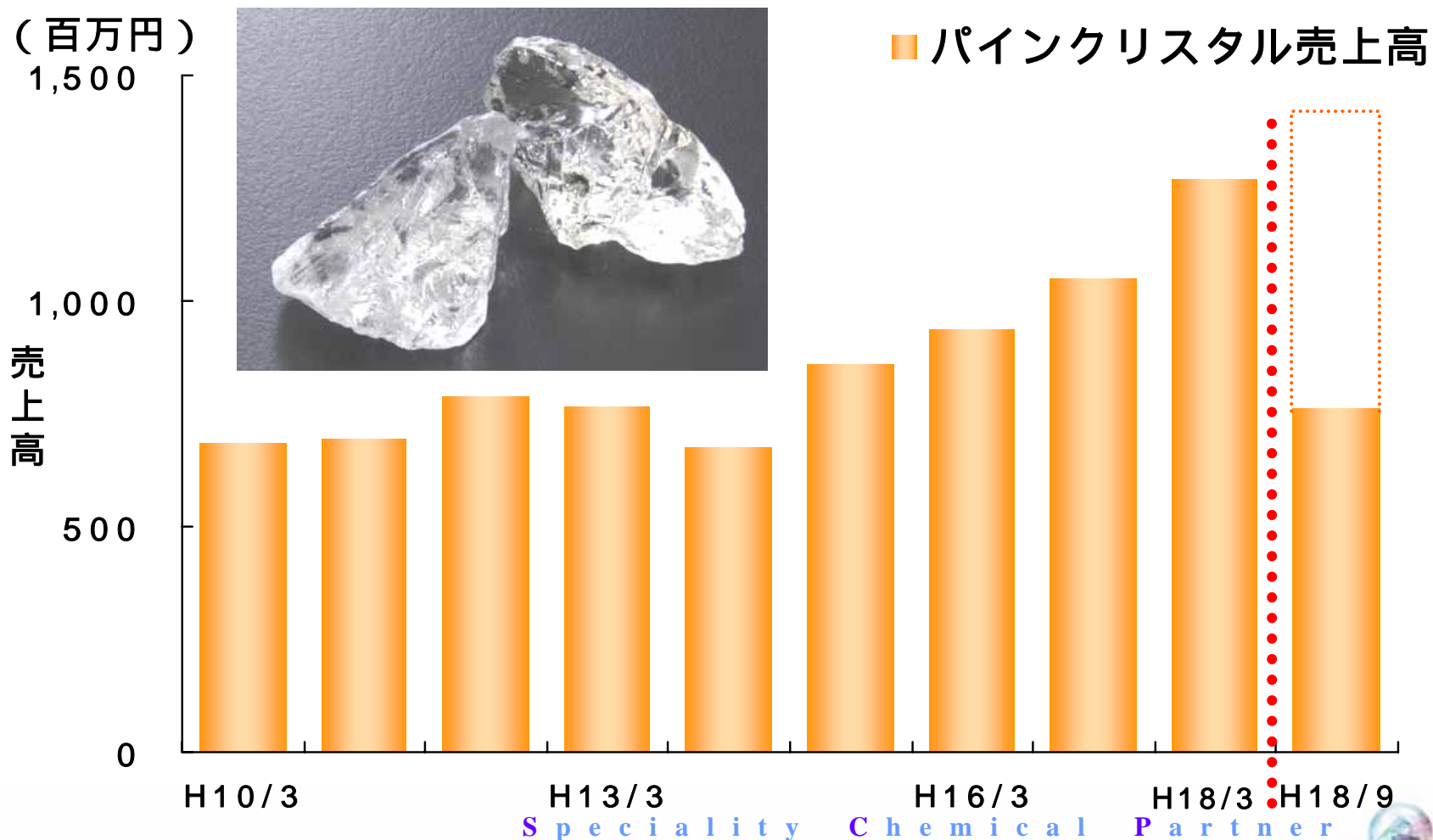


Speciality Chemical Partner



## 5 - 2 . 超淡色ロジン (パインクリスタル)

[用途] 鉛フリーはんだ用フラックス 高機能粘着・接着剤 医療用ハップ剤  
 インクジェット等の特殊印刷インキ プラスチック用結晶核剤

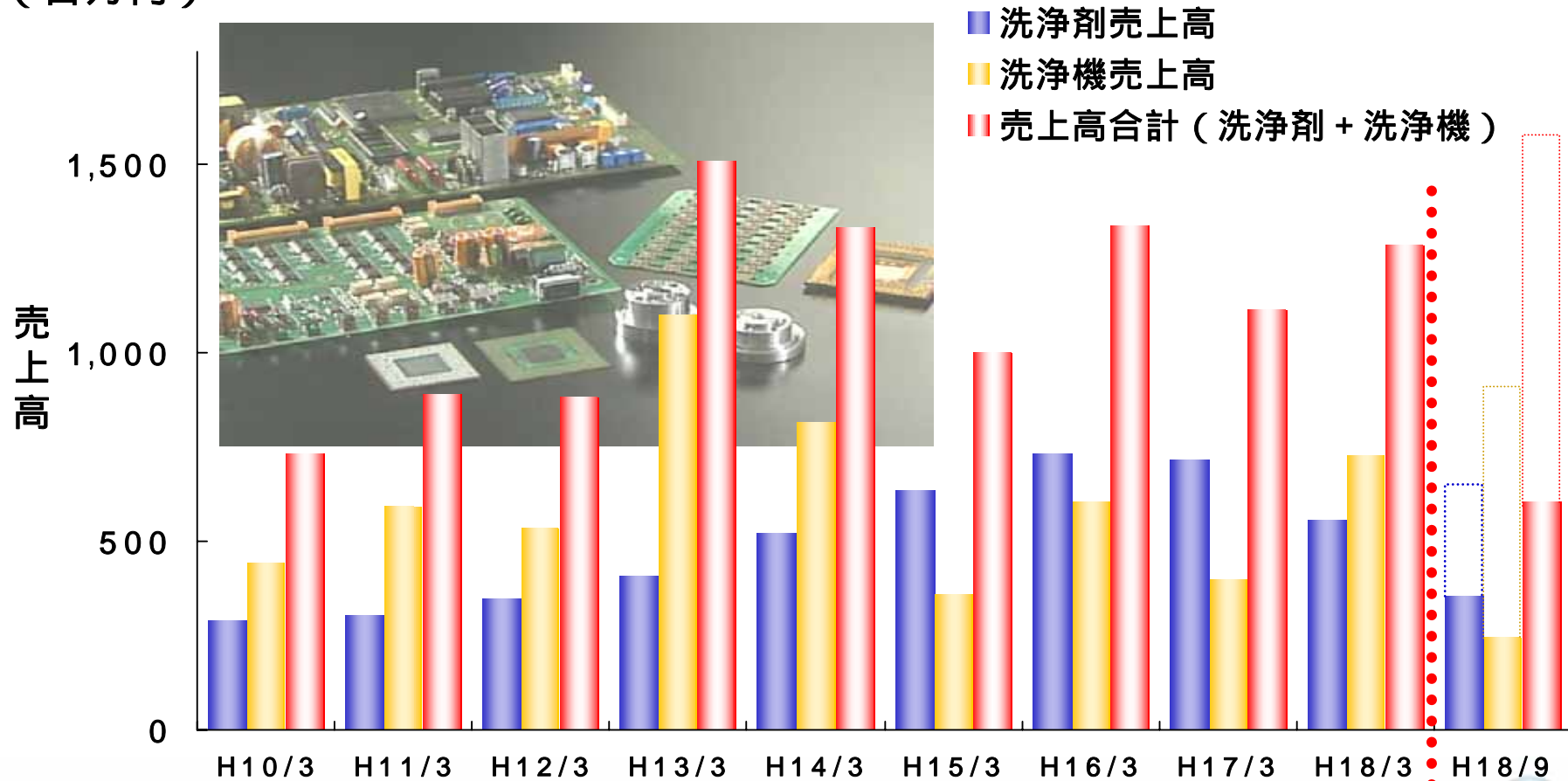




# 5 - 3 . 精密部品洗浄システム（パインアルファ、洗浄機械）

[ 洗浄対象 ] 実装基板 BGA ハイブリッドIC HDDケース  
 WL - CSP 通信機器部品 シリコンウェハ等

(百万円)



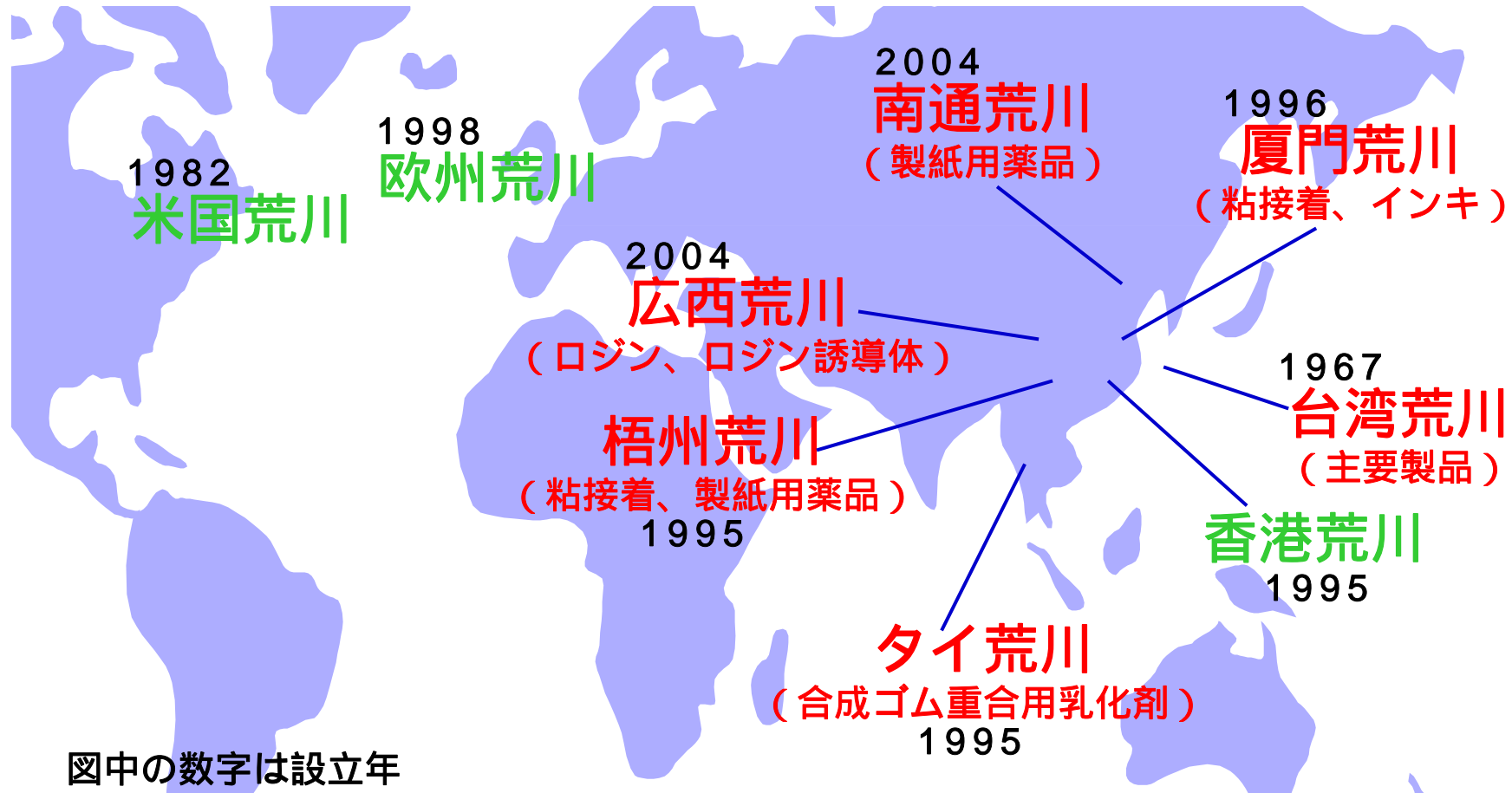
Speciality Chemical Partner





## 6 . 国際展開

### 6 - 1 . 荒川化学グループの国際展開



\* 平成20年3月期連結海外売上高比率目標17%台 (連結売上高約10,000百万円)



## 6 - 2 . 荒川化学グループの中国展開



## 6 - 3 . 中国展開 ( 1 )

### 広西荒川化学工業有限公司の設立 (平成17年11月稼働)



- ・中期5ヵ年経営計画の国際展開における重点テーマとして安定的な原材料調達を推進。
- ・ガムロジン世界最大の産地の中国では、国有企業による生産から、平成13年WTO加盟にともない民営の生産工場が台頭するなど自由化が進んだ。
- ・より安定的なロジンの確保、生松脂からロジンおよびロジン誘導体までを一貫生産することによる効率化と品質の向上を目的として、中国におけるロジンおよびロジン誘導体の生産拠点を設立。現在、順調に稼働中。

### 広西荒川化学工業有限公司の概要

所在地	中国広西壮族自治区梧州市外向型工業園区	
設立年月日	平成16年6月17日	
主な事業の内容	ロジンおよびロジン誘導体などの製造ならびに販売	
生産能力	約45,000トン/年	
従業員数	約150名	
資本の額	登録資本 1,200万米ドル	
出資持分の所有割合	荒川化学工業株式会社	70%
	三井物産株式会社	20%
	中国広西梧州松脂股份有限公司	10%

## 6 - 3 . 中国展開 ( 2 )

### 南通荒川化学工業有限公司の設立 (平成17年12月稼働)

- ・ 中期5ヵ年経営計画の国際展開における重点テーマとして中国における市場開拓を推進。
- ・ 中国では高い経済成長を背景に紙の需要が増加し、紙・パルプ産業が急速に発展している。
- ・ これまでに梧州荒川化学工業有限公司にて製紙用薬品の製造・販売を進めてきたが、上海近郊を中心とした製紙会社の急速な拡大に対応する為、生産拠点を設立。現在、順調に稼働中。



### 南通荒川化学工業有限公司の概要

所在地	中国江蘇省南通市南通経済技術開発区内
設立年月日	平成16年4月20日
主な事業の内容	製紙用紙力増強剤および製紙用サイズ剤などの製造ならびに販売
生産能力	約20,000トン/年
従業員数	約40名
資本の額	登録資本 550万米ドル
出資持分の所有割合	荒川化学工業株式会社 100%

## 7 . 連結体制の強化について

### 日本ペルノックス株式会社の完全子会社化（平成18年9月）

・荒川化学グループの電子材料関連分野において、より一層の拡大を目指し、平成15年10月にグループ化した、エポキシ樹脂、シリコン樹脂などの特徴ある電子材料用樹脂を製造する日本ペルノックスを完全子会社化とした。

（当社出資比率 85% 100%）

### 梧州荒川化学工業有限公司の出資持分増加（平成18年10月）

・荒川化学グループの中国における事業展開をより迅速に実施できる体制を整備し、より一層の中国事業の伸長を目指すため、中国広西梧州松脂股有限公司出資持分（40%）の四分之三を譲り受けた。

（当社出資比率 60% 90%）



## 参考資料・会社・事業概要

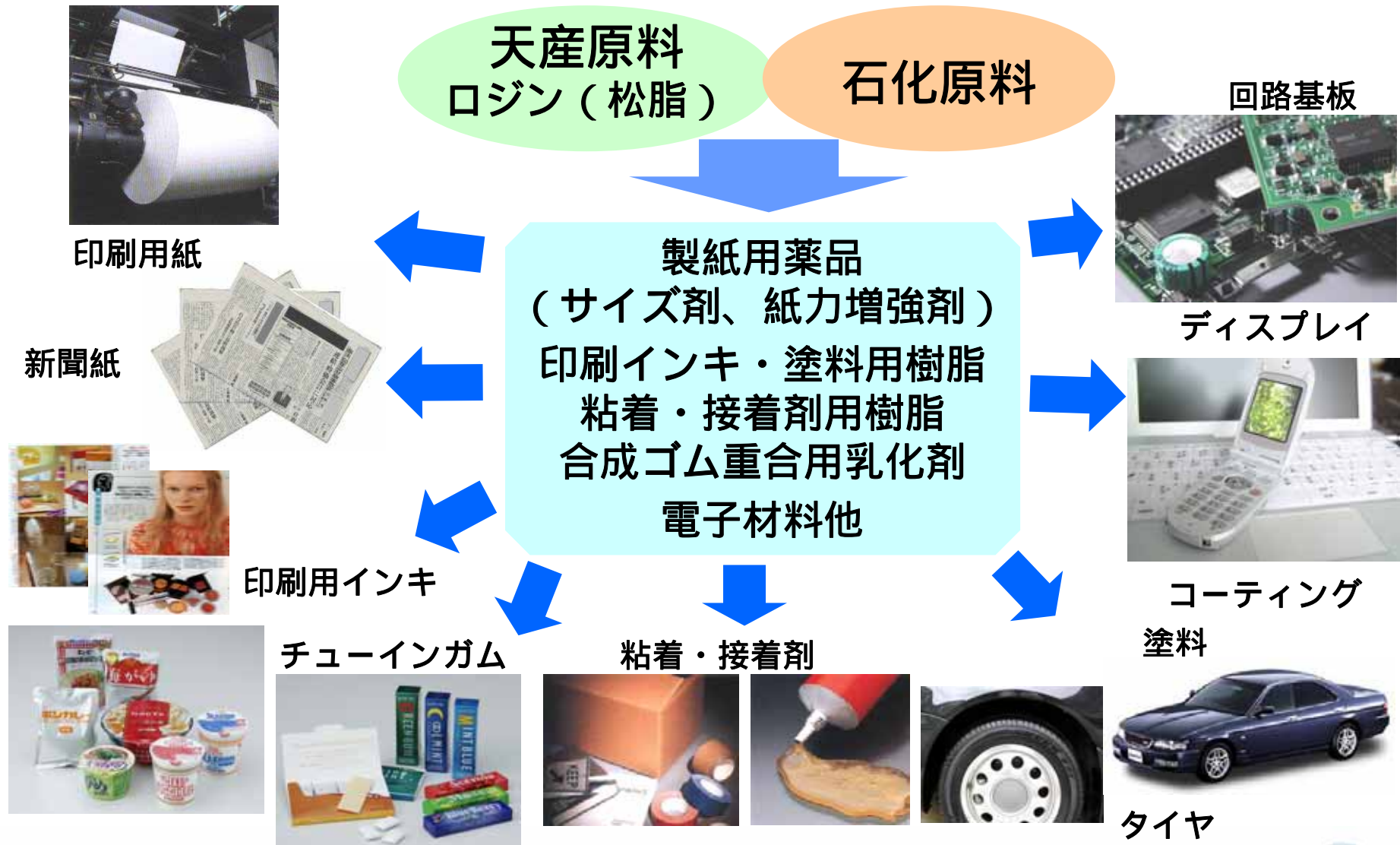
### 1. 会社概要

商号	荒川化学工業株式会社
所在地	大阪市中央区平野町1丁目3番7号
代表者	取締役社長 末村 長弘
創業	明治9年（1876年）
会社設立	昭和6年（1931年）
資本金	31億2,830万円
決算期	3月
上場取引所	東証・大証一部
証券コード	4968





## 2. 事業の概要



Speciality Chemical Partner

### 3 . 生松脂採取からロジン製品完成までの流れ

生松脂採取



生松脂採取

\* 松の木に溝をつけ、滲み出してきた松脂を収集する

生松脂の受入～ロジンの精製  
( 広西荒川化学工業有限公司 )



生松脂入荷

精製



ロジン取出し



ロジン

荒川化学  
グループへ出荷

- ・ 製紙用薬品
- ・ 印刷インキ・塗料用樹脂
- ・ 合成ゴム重合用乳化剤
- ・ その他  
( ガムベース、電子材料関連分野用の樹脂など )

\* ロジンは、様々な用途の製品の製造にかかせない材料



事務所棟外観



ロジン精製プラント外観

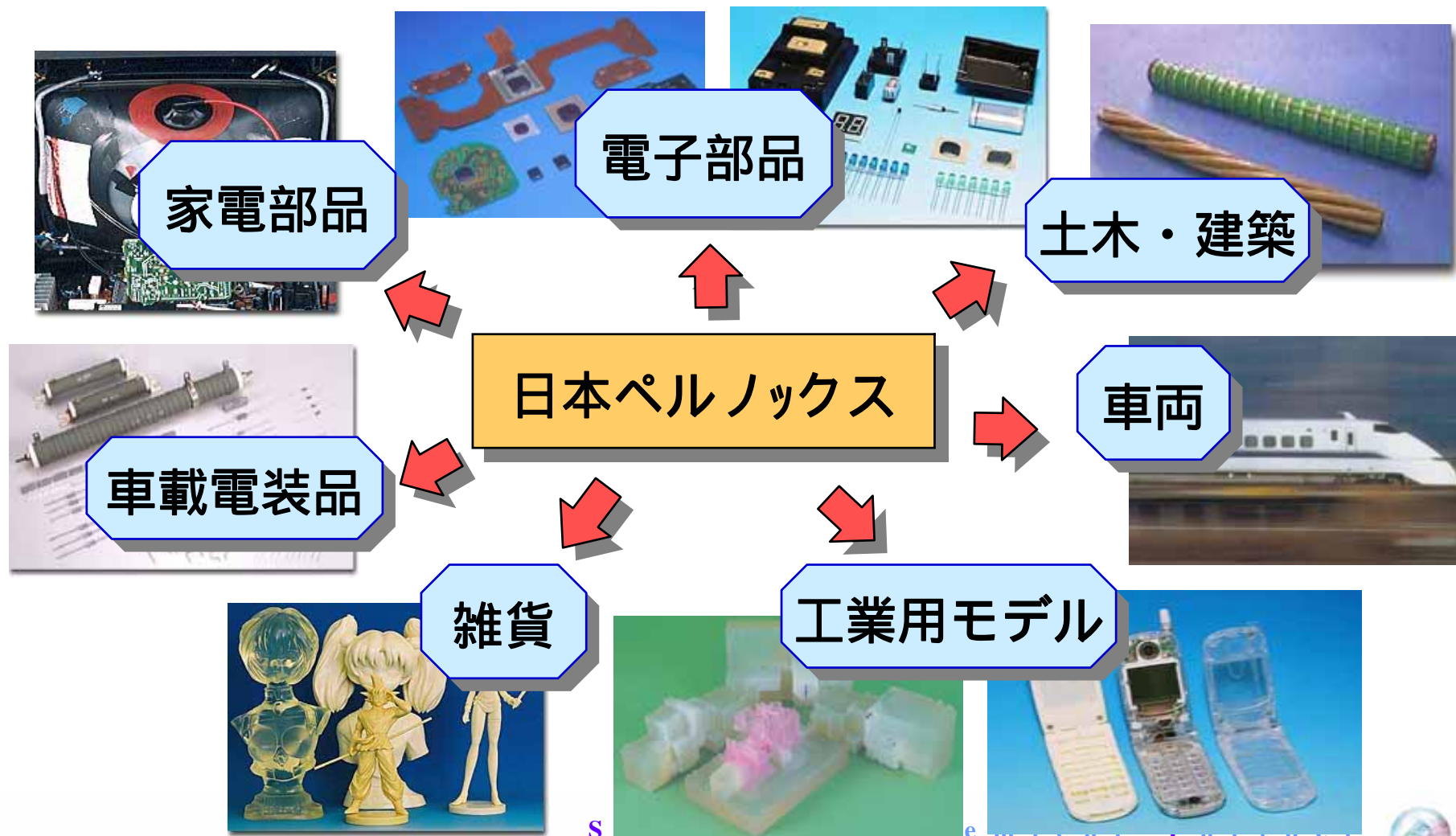
Speciality Chemical Partner





# 4 . 日本ペルノックス概要

## 4 - 1 . 製品の主な用途分野



## 4 - 2 . 日本ペルノックスの電子材料用樹脂

**ペルトロン®シリーズ**  
(導電ペースト、透明導電塗料など)

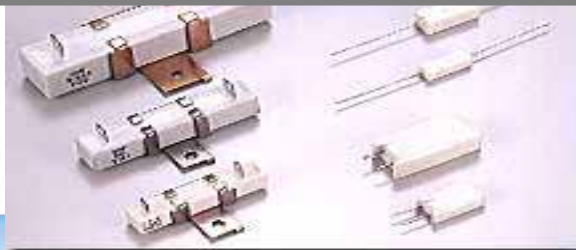


**液状エポキシ樹脂製品**  
(LED用封止樹脂など)

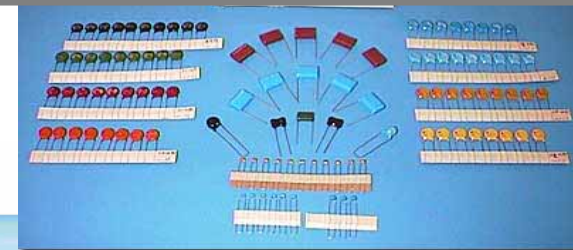


エポキシ樹脂、シリコン樹脂  
などの樹脂・フィラ - の配合・分散技術

**シリコン樹脂製品**  
(PDP用部品のパッケージ用樹脂など)



**粉体エポキシ樹脂製品**  
(コンデンサーコーティング用樹脂など)



Speciality

## 5 . 事業セグメント（連結）とグループ体制

### 工業用樹脂事業

印刷インキ用樹脂 塗料用樹脂  
 合成ゴム重合用乳化剤  
 粘着・接着剤用樹脂 電子材料用樹脂  
 精密部品洗浄剤等

#### 連結子会社

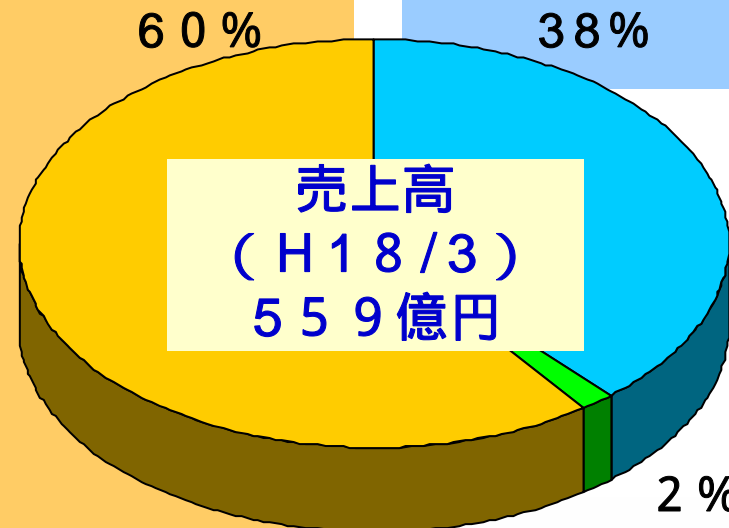
[日本] 高压化学工業  
 日本ペルノックス  
 [台湾] 台湾荒川化学  
 [中国] 梧州荒川化学  
 厦門荒川化学  
 広西荒川化学  
 [米国] 米国荒川化学  
 持分法適用関係会社  
 [タイ] タイ荒川化学  
 [欧州] 欧州荒川

### 製紙用薬品事業

サイズ剤 紙力増強剤 塗工紙用薬品  
 剥離紙用シリコーン等

#### 連結子会社

[台湾] 台湾荒川化学  
 [中国] 梧州荒川化学  
 南通荒川化学



### その他事業

洗浄機器販売等

#### 連結子会社

[日本]  
 カクタマサービス

Speciality Chemical Partner



## 6 . 事業セグメント概要 ( 単独 )

### 商品

塗工紙用薬品  
洗淨機器  
製紙用薬品取扱品  
工業用樹脂取扱品等

23%

### 製紙用薬品

サイズ剤 紙力増強剤  
情報紙用薬品  
剥離紙用シリコーン等

28%

### 電子材料他

電子材料用樹脂  
半導体関連樹脂  
精密部品洗淨剤等

9%

売上高  
( H18/3 )  
481億円

### 粘着・接着剤用樹脂 13%

粘着・接着剤用樹脂  
水系粘着・接着剤用樹脂  
プラスチック改質剤  
チューインガム基礎剤等

28%

### 印刷インキ

#### 塗料用樹脂

#### 合成ゴム重合用乳化剤

#### オフセットインキ用樹脂

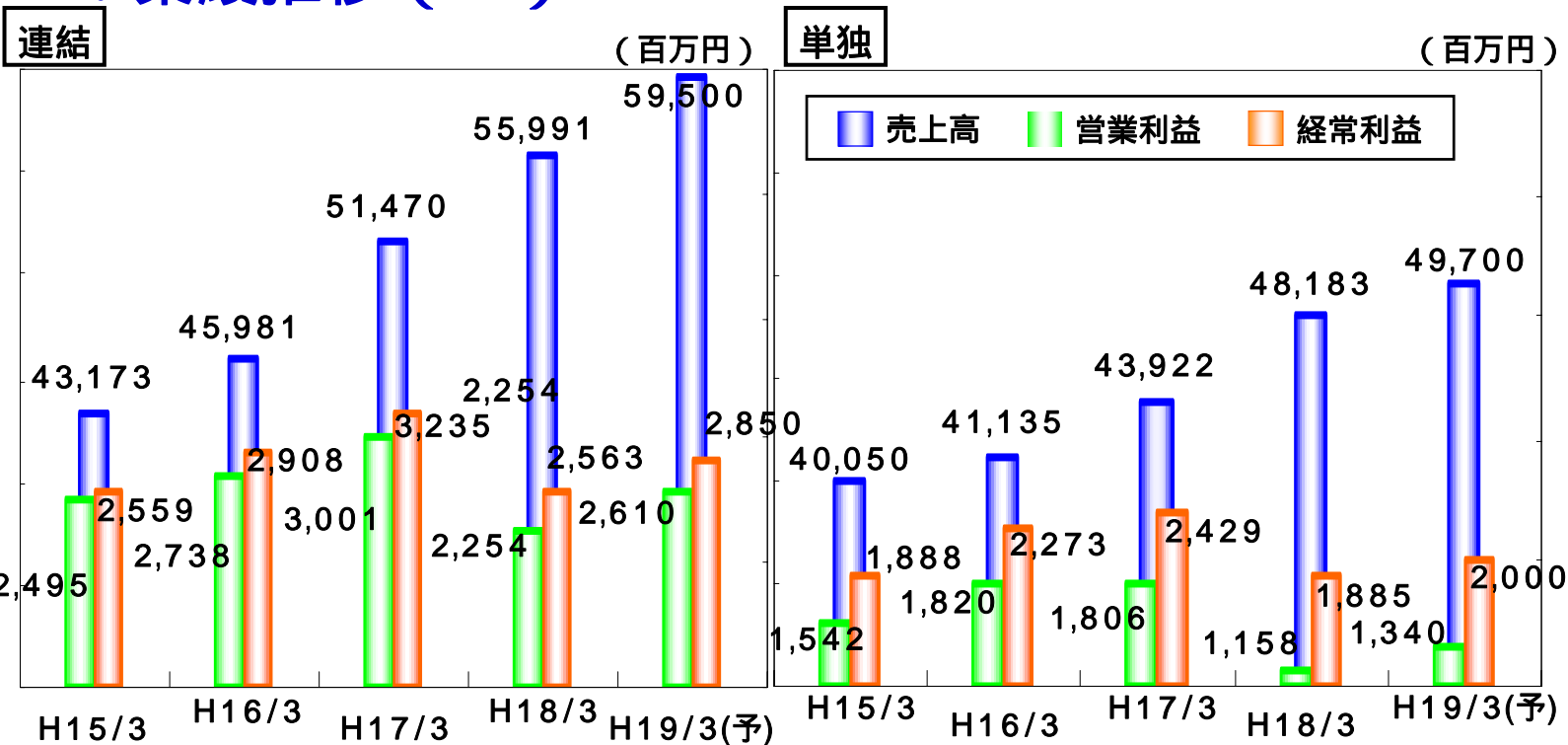
出版・包装グラビアインキ用樹脂  
塗料用樹脂 UV / EB 硬化型樹脂  
合成ゴム重合用乳化剤等

Speciality Chemical Partner



# 7. 通期業績

## 7-1. 業績推移 (1)



### 前期比増減

(単位：百万円 ( )内は増減率%)

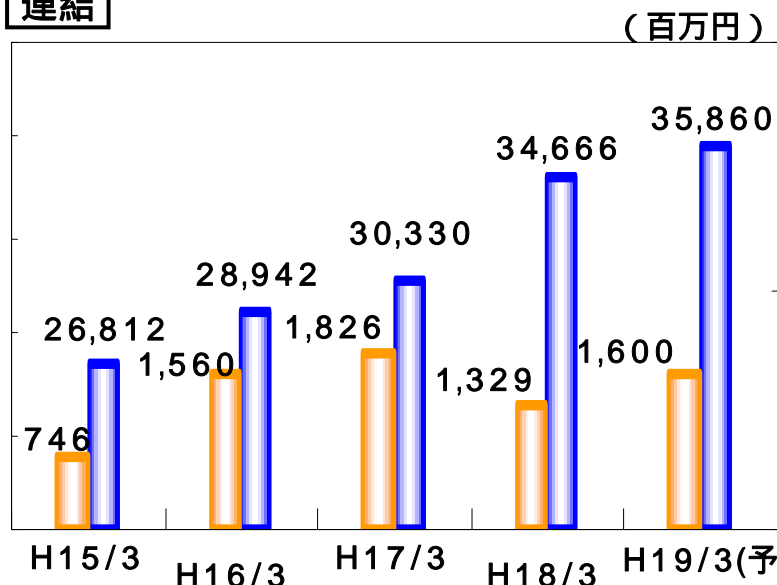
	H15/3	H16/3	H17/3	H18/3	H19/3(予)	H15/3	H16/3	H17/3	H18/3	H19/3(予)
売上高	+1,609 (+3.9)	+2,808 (+6.5)	+5,489 (+11.9)	+4,520 (+8.8)	+3,508 (+6.3)	+1,498 (+3.9)	+1,084 (+2.7)	+2,787 (+6.8)	+4,260 (+9.7)	+1,516 (+3.1)
営業利益	3 (0.1)	+242 (+9.7)	+263 (+9.6)	747 (24.9)	+355 (+15.8)	152 (9.0)	+278 (+18.1)	14 (0.8)	648 (35.9)	+181 (+15.7)
経常利益	38 (1.5)	+349 (+13.6)	+326 (+11.2)	672 (20.8)	+286 (+11.2)	147 (7.2)	+384 (+20.4)	+155 (+6.8)	544 (22.4)	+114 (+6.1)



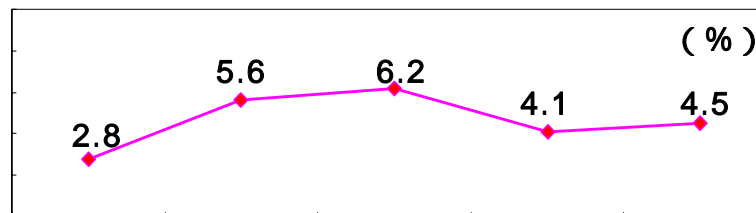
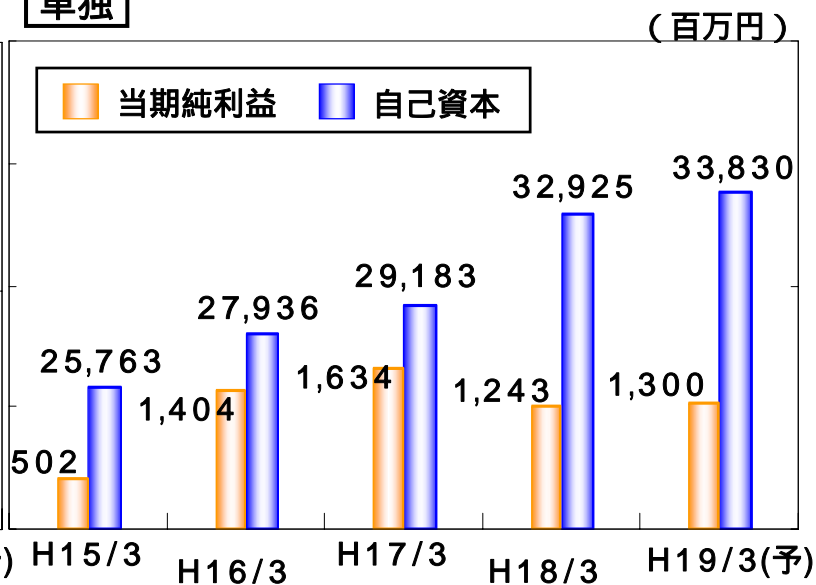
# 7 - 2 . 業績推移 ( 2 )



連結



単独



前期比増減

(単位：百万円 ( )内は増減率%)

	H15/3	H16/3	H17/3	H18/3	H19/3(予)	H15/3	H16/3	H17/3	H18/3	H19/3(予)
当期純利益	+168 (+29.2)	+813 (+109.0)	+265 (+17.0)	497 (27.2)	+270 (+20.4)	+93 (+23.0)	+902 (+179.6)	+230 (+16.4)	391 (23.9)	+56 (+4.6)
自己資本	+274 (+1.0)	+2,129 (+7.9)	+1,387 (+4.8)	+4,335 (+14.3)	+1,193 (+3.4)	+228 (+0.9)	+2,172 (+8.4)	+1,247 (+4.5)	+3,742 (+12.8)	+904 (+2.7)

Speciality Chemical Partner





# 7 - 3 . 損益項目推移



連結

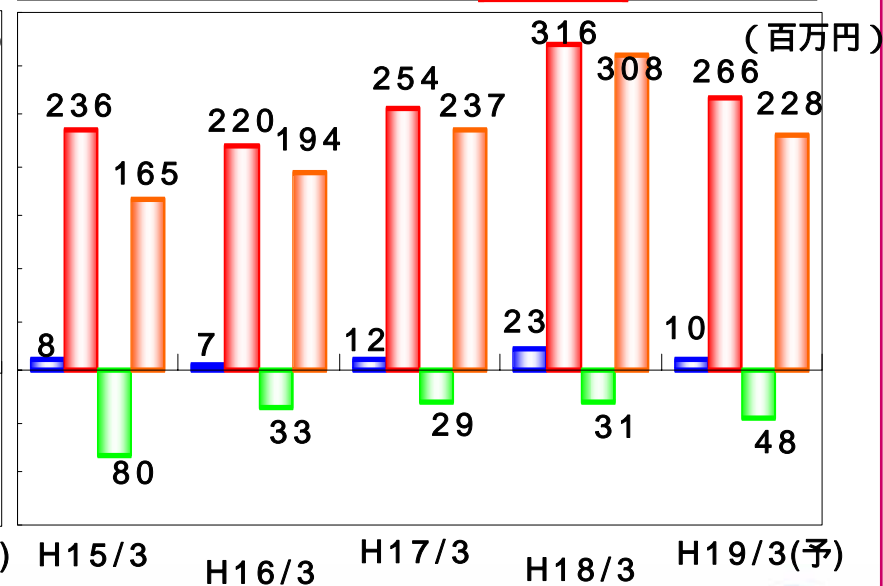
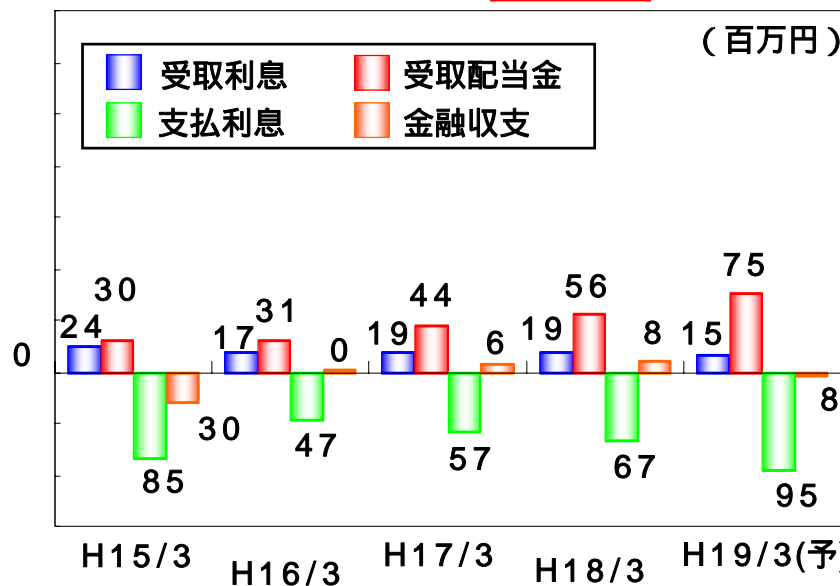
単独

前期比増減

(単位：百万円 ( )内は増減率%)

	H15/3	H16/3	H17/3	H18/3	H19/3(予)
販売費	+67	+671	+862	+335	+405
一般管理費	(+0.9)	(+8.8)	(+10.4)	(+3.7)	(+4.3)
営業外益	+1	+60	+18	+88	70
営業外費用	(+20.8)	(22.1)	(27.6)	(+11.1)	(1.0)
特別利益	57	0	+142	89	23
特別損失	367	975	+23	+3	34

	H15/3	H16/3	H17/3	H18/3	H19/3(予)
販売費	+159	+124	+99	+108	+417
一般管理費	(+2.3)	(+1.8)	(+1.4)	(+1.5)	(+5.6)
営業外益	+6	+71	+112	+124	85
営業外費用	(+1.1)	(22.7)	(49.4)	(+34.1)	(24.4)
特別利益	57	+0	+142	90	22
特別損失	370	981	+35	10	18



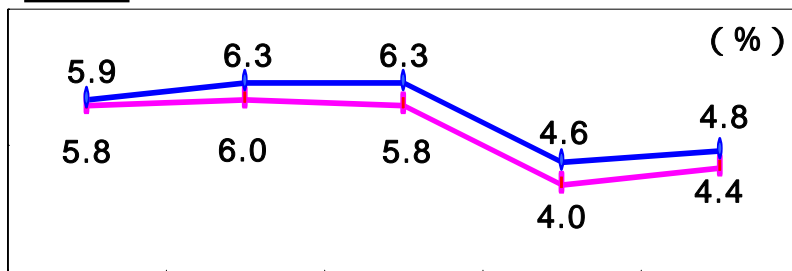
Speciality Chemical Partner



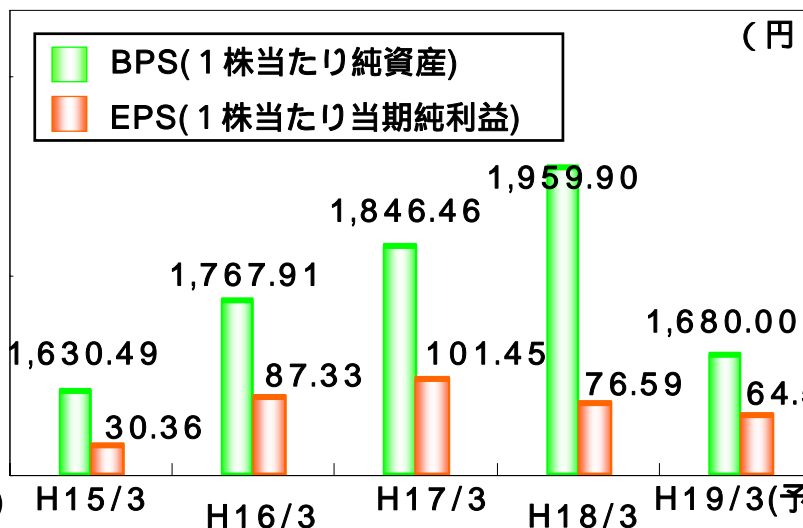
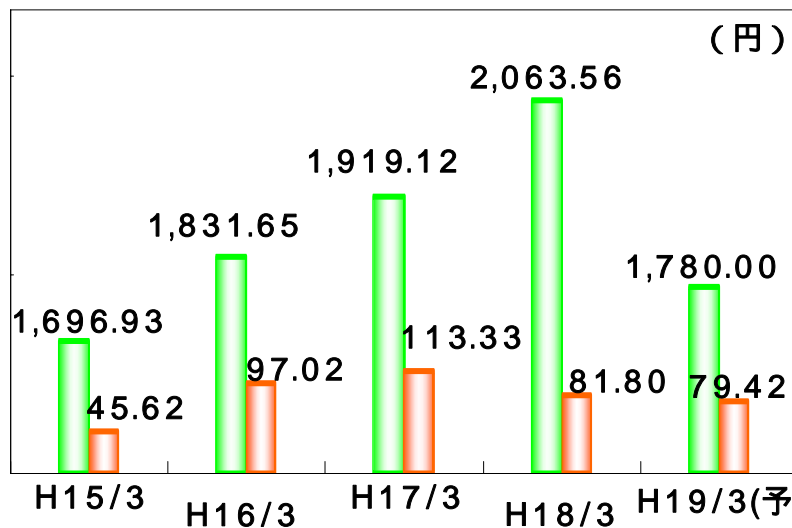
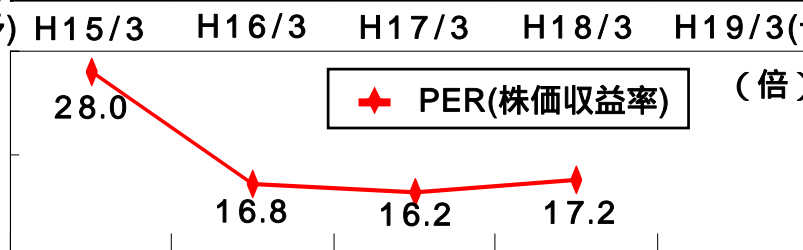
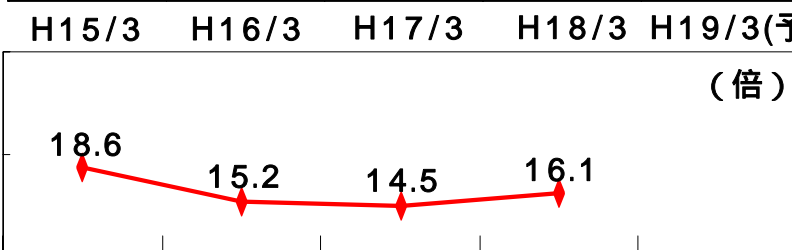
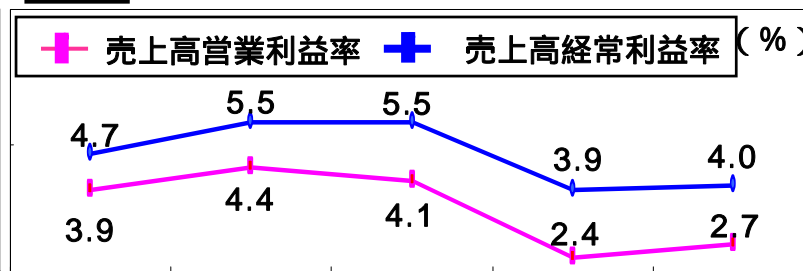
# 7 - 4 . 経営指標等



連結



単独



Speciality Chemical Partner

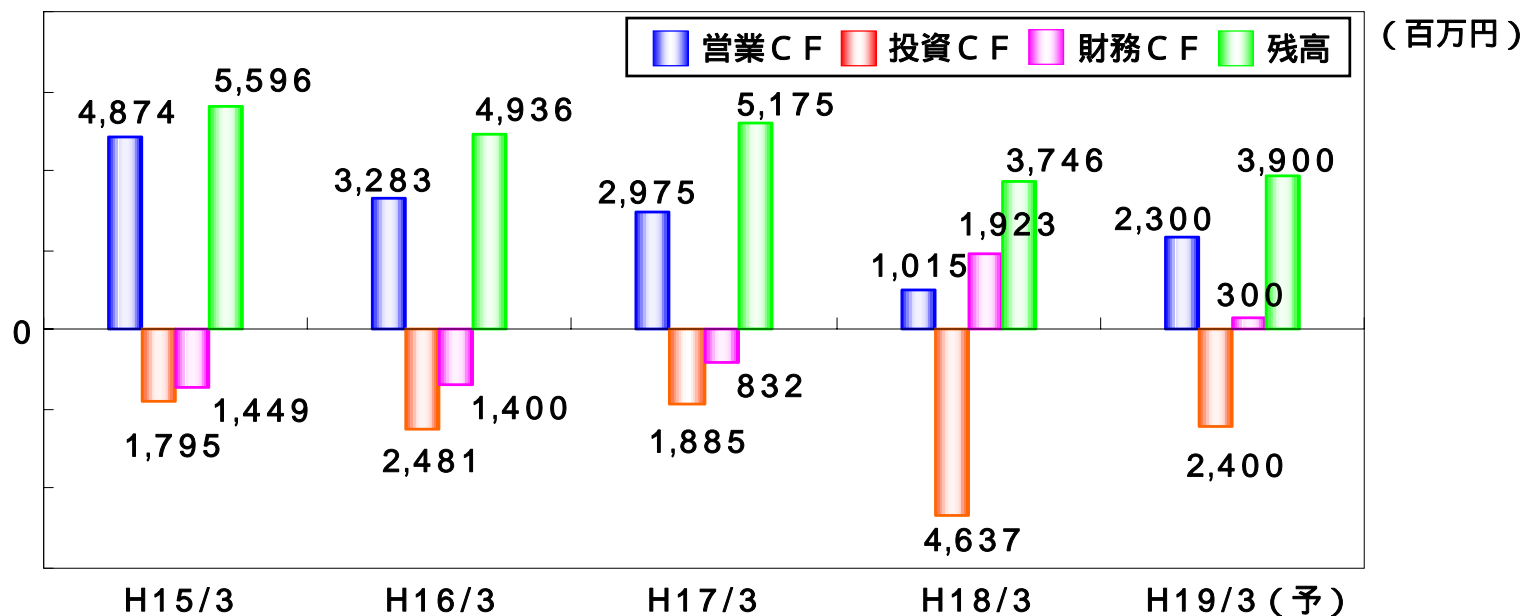




# 7 - 5 . キャッシュフロー推移 (連結)



連結



## 前期比増減

(単位：百万円)

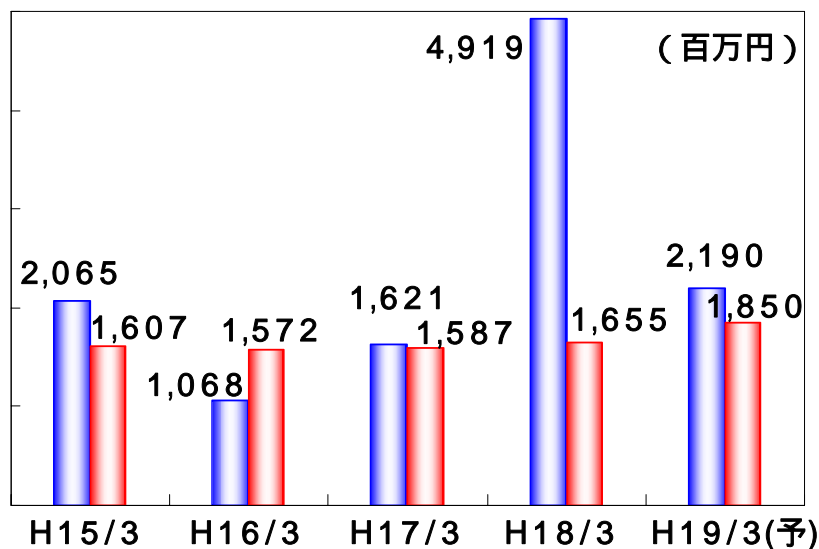
	H15/3	H16/3	H17/3	H18/3	H19/3(予)
営業キャッシュフロー	+1,805	1,591	308	1,960	+1,284
投資キャッシュフロー	+301	686	+595	2,752	+2,237
財務キャッシュフロー	657	+48	+568	+2,755	1,623
現金及び現金同等物の期末残高	+1,561	659	+239	1,429	153

Speciality Chemical Partner

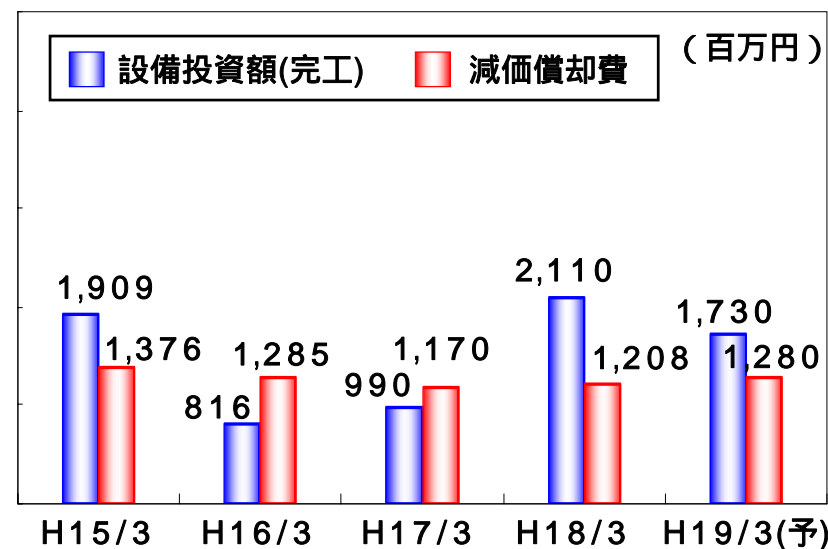
# 7 - 6 . 設備投資等推移



連結



単独



前期比増減

(単位：百万円 ( )内は増減率%)

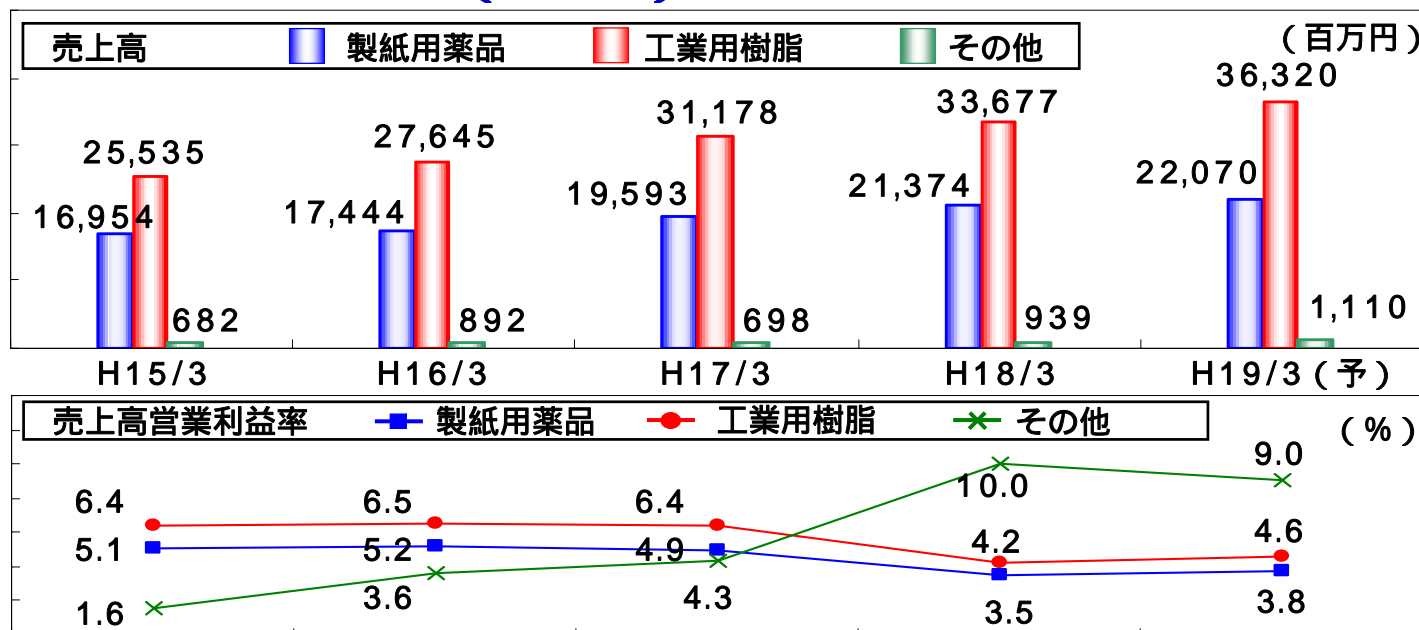
	H15/3	H16/3	H17/3	H18/3	H19/3(予)
設備投資額(完工)	+852 (+70.2)	997 ( 48.7)	+553 (+51.8)	+3,298 (+203.5)	2,729 ( 55.5)
設備投資額(キャッシュフロー)	628 ( 32.5)	171 ( 13.2)	+844 (+74.6)	+2,492 (+126.2)	1,717 ( 38.4)
減価償却費	103 ( 6.0)	34 ( 2.1)	+14 (+0.9)	+66 (+4.2)	+196 (+11.9)
研究開発費	+129 (+7.4)	+267 (+14.1)	+178 (+8.3)	82 ( 3.5)	+242 (+10.7)

	H15/3	H16/3	H17/3	H18/3	H19/3(予)
設備投資額(完工)	+902 (+89.5)	1,093 ( 57.3)	+174 (+21.4)	+1,119 (+113.0)	380 ( 18.0)
設備投資額(キャッシュフロー)	620 ( 35.7)	311 ( 27.9)	+355 (+44.1)	+805 (+69.4)	236 ( 12.0)
減価償却費	74 ( 5.1)	90 ( 6.6)	114 ( 8.9)	+37 (+3.2)	+71 (+5.9)
研究開発費	+129 (+7.4)	+92 (+4.9)	+4 (+0.2)	92 ( 4.6)	+220 (+11.6)

Speciality Chemical Partner



# 7 - 7 . セグメント別推移 ( 連結 )

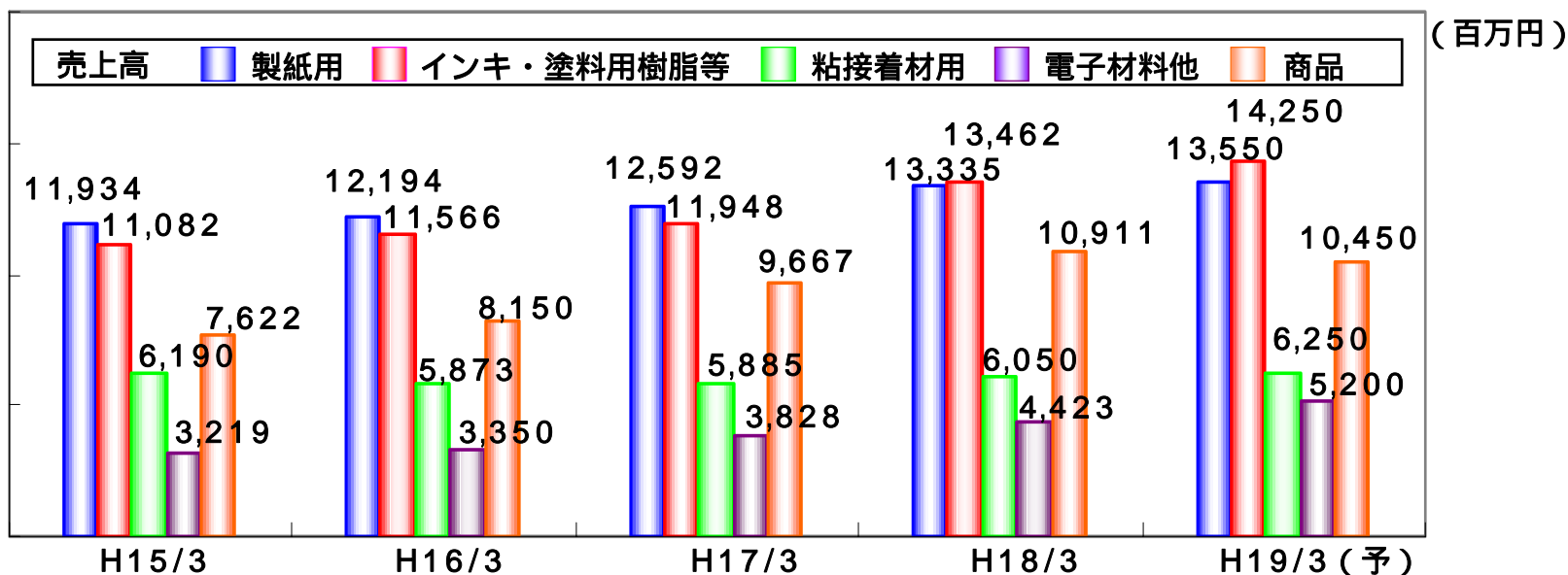


## 前期比増減

( 単位 : 百万円 ( )内は増減率% )

		H15/3	H16/3	H17/3	H18/3	H19/3(予)
製紙用品	売上高	+540 (+3.3)	+489 (+2.9)	+2,149 (+12.3)	+1,780 (+9.1)	+695 (+3.3)
	営業利益	175 (16.9)	+42 (+4.9)	+61 (+6.8)	221 (23.0)	+97 (+13.2)
工業用樹脂	売上高	+1,433 (+5.9)	+2,109 (+8.3)	+3,533 (+12.8)	+2,498 (+8.0)	+2,642 (+7.8)
	営業利益	+197 (+13.8)	+179 (+11.1)	+203 (+11.3)	589 (29.4)	+252 (+17.8)
その他	売上高	364 (34.8)	+209 (+30.7)	193 (21.7)	+240 (+34.5)	+170 (+18.2)
	営業利益	25 (70.4)	+20 (+193.0)	1 (6.1)	+64 (+216.8)	+5 (+6.0)

# 7 - 8 . セグメント別推移 ( 単独 )



## 前期比増減

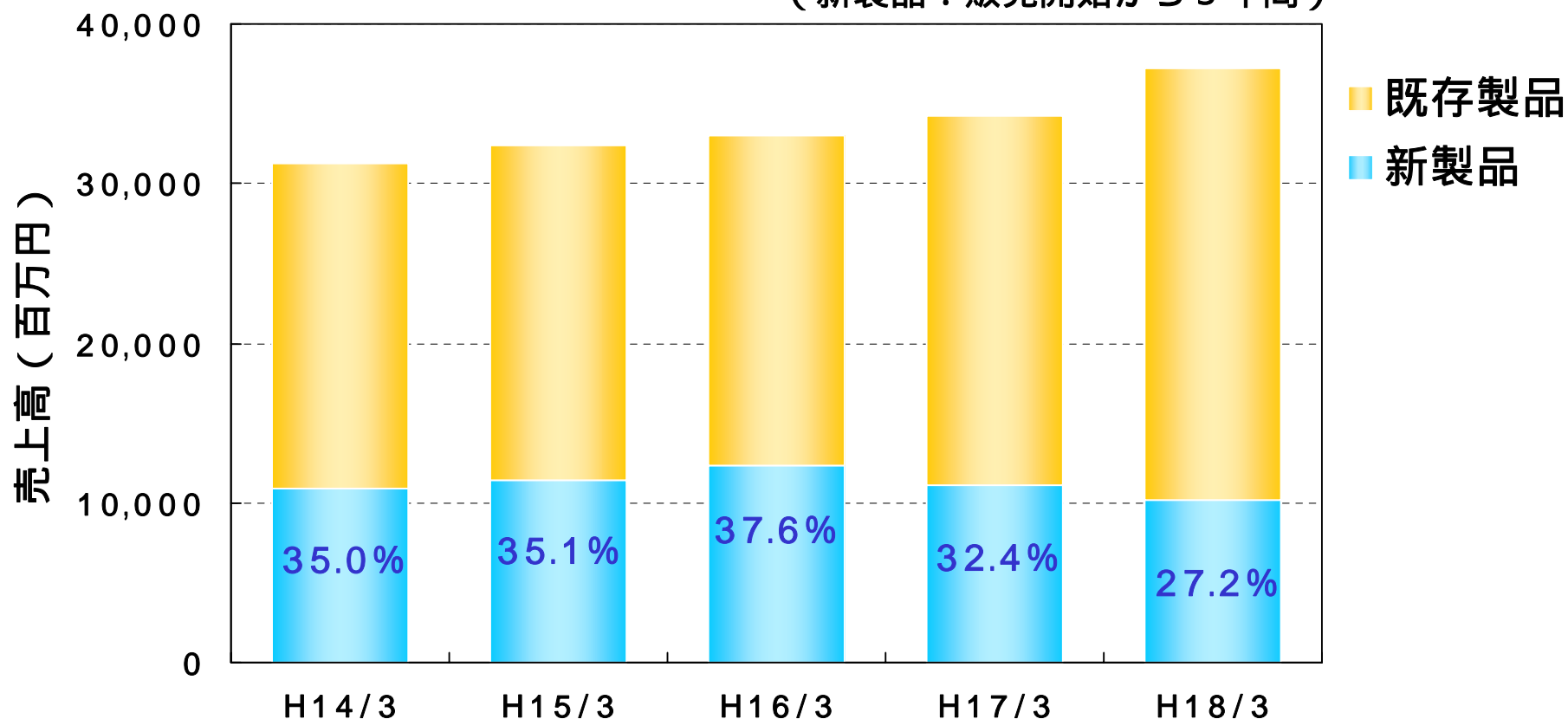
(単位：百万円 ( )内は増減率%)

	H15/3	H16/3	H17/3	H18/3	H19/3(予)
製紙用薬品	125 ( 1.0)	+ 259 (+ 2.2)	+ 398 (+ 3.3)	+ 742 (+ 5.9)	+ 214 (+ 1.6)
印刷インキ・塗料用樹脂及び合成ゴム重合用乳化剤	+ 417 (+ 3.9)	+ 483 (+ 4.4)	+ 382 (+ 3.3)	+ 1,514 (+ 12.7)	+ 787 (+ 5.8)
粘着・接着剤用樹脂	+ 352 (+ 6.0)	316 ( 5.1)	+ 11 (+ 0.2)	+ 164 (+ 2.8)	+ 199 (+ 3.3)
電子材料他	+ 556 (+ 20.9)	+ 130 (+ 4.1)	+ 477 (+ 14.3)	+ 594 (+ 15.5)	+ 776 (+ 17.6)
商 品	+ 297 (+ 4.1)	+ 527 (+ 6.9)	+ 1,517 (+ 18.6)	+ 1,243 (+ 12.9)	461 ( 4.2)

## 8 . 新製品売上高の推移

### 新製品開発比率（取扱品を除く自社開発製品）

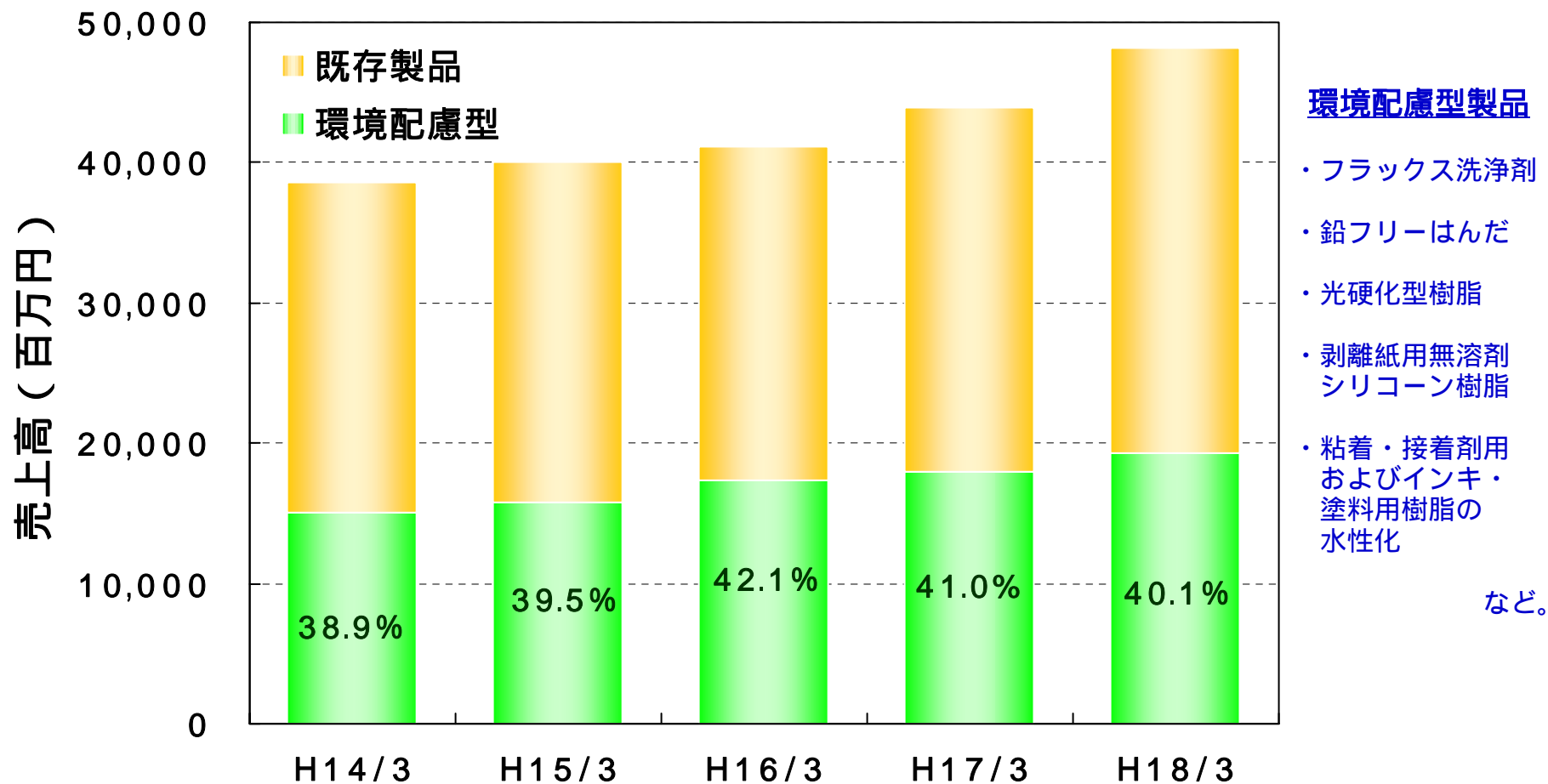
（新製品：販売開始から5年間）



# 9 . 環境配慮型製品売上高の推移



## 環境配慮型製品売上高推移（単独）



Speciality Chemical Partner



# 10 . 中期5 年経営計画の進捗と展望



## 中期5 年経営計画

平成15年4月～平成20年3月(5 年)

### 経営方針

将来に向けた継続的な発展と企業価値の向上を目指し、顧客から信頼され、且つ社員一人ひとりが会社の仕事や自分の将来に夢を持ち、それを果たせる企業としての変革を行う。

#### (1) 既存事業の再構築

事業部門ごとの事業の見直しや徹底したコストダウンを推進する。

#### (2) 新規事業の創生

次なる事業の柱の確立を目指し、新規事業の創生を推進する。

#### (3) 国際展開

アジア地域、特に伸長が著しい中国における市場開拓を推進する。

#### (4) 新たな経営の仕組みの構築

責任と権限を明確にし、機能別最適から事業別最適の経営を目指す。

S p e c i a l i t y C h e m i c a l P a r t n e r



## 10 - 1 . 中期5ヵ年経営計画と進捗（既存事業）

- 1 ) 徹底したコスト競争力強化のための施策
- 2 ) 製品ごとのライフサイクルに応じた見直し
- 3 ) 主力製品の新規用途開発による高付加価値化
- 4 ) 海外における拡大と新市場の確保

**上海駐在員事務所の開設（平成15年11月開設）**

**梧州荒川化学の連結子会社化（平成16年3月）**

**広西荒川化学工業有限公司の設立**

**ロジンおよびロジン誘導体の生産拠点（平成17年11月稼働）**

**南通荒川化学工業有限公司の設立**

**製紙用薬品を中心とする生産拠点（平成17年12月稼働）**

**梧州荒川化学工業有限公司の出資比率増加（平成18年10月）**





## 10 - 2 . 中期5ヵ年経営計画と進捗（新規事業）

- 1) 精密部品洗浄分野とこれに関わる分野における事業の拡大
- 2) 機能性ファインケミカル分野における事業の拡大
- 3) 新素材の市場拡大と次期新規事業の探索

### 高圧化学工業ファインケミカル製造設備新設および増設

電子材料素材を中心としたファインケミカル製品の製造に好適なクリーン環境 対応の製造設備を新設（平成16年5月竣工）。

さらに旺盛な需要に支えられ フル稼動の状態が続いていることから、事業拡大のため設備の増設を決定（平成18年3月竣工）。

### 日本ペルノックスの株式取得による子会社化（平成15年10月）

電子材料分野で川下の領域に位置する日本ペルノックスをグループに加えることで、顧客ニーズの把握と技術開発における相乗効果を発揮させ、荒川化学グループとしての電子材料関連分野の中長期的拡大を目指す。

### 日本ペルノックスの株式取得による完全子会社化（平成18年9月）

荒川化学グループの電子材料関連分野における一層の拡大を目指し、平成15年10月にグループ化した日本ペルノックスを完全子会社化。

Speciality Chemical Partner



## 10 - 3 . 中期5ヵ年経営計画と進捗（管理体制の再構築）

- 1 ) 事業部門別業績評価制度の再構築
- 2 ) 人事評価・報酬制度の見直し
- 3 ) 全社的業務改革の推進

### インフラの整備

事業部別利益計算書・荒川版経済付加価値の導入

### 貢献主義人事評価報酬制度

人事評価および報酬制度を見直した新制度の導入

### 業務改革活動

全社的な業務改革活動の推進

合理化・効率化のための業務システム再構築（業務統轄部の創設）



# 1 1 - 1 . 中期経営目標

(単位：百万円)	H15/3	H16/3	H17/3	H18/3	H19/3 (予想)	H20/3 (計画)	5カ年 増減%
売上高	(連結) 43,173	45,981	51,470	55,991	59,500	57,000	+32.0
	(単独) 40,050	41,135	43,922	48,183	49,700	46,000	+14.9
営業利益	(連結) 2,495	2,738	3,001	2,254	2,610	3,800	+52.3
	(単独) 1,542	1,820	1,806	1,158	1,340	2,350	+52.4
経常利益	(連結) 2,559	2,908	3,235	2,563	2,850	4,000	+56.3
	(単独) 1,888	2,273	2,429	1,885	2,000	2,800	+48.2
純利益	(連結) 746	1,560	1,826	1,329	1,600	2,200	+194.6
	(単独) 502	1,404	1,634	1,243	1,300	1,750	+248.4
売上高経常 利益率%	(連結) 5.9%	6.3%	6.3%	4.6%	4.8%	7.0%	
	(単独) 4.7%	5.5%	5.5%	3.9%	4.0%	6.1%	



## 1 1 - 2 . セグメント別経営目標 ( 連結 )

( 単位 : 百万円 )		H15/3	H16/3	H17/3	H18/3	H19/3 ( 予想 )	H20/3 ( 計画 )	5 年 増減 %
製紙用 薬 品	売 上 高	16,954	17,444	19,593	21,374	22,070	19,400	+ 14.4
	営 業 利 益	860	902	964	742	840	1,060	+ 23.2
	営 業 利 益 率	5.1	5.2	4.9	3.5	3.8	5.5	-
工 業 用 樹 脂	売 上 高	25,535	27,645	31,178	33,677	36,320	36,300	+ 42.2
	営 業 利 益	1,624	1,803	2,007	1,417	1,670	2,670	+ 64.4
	営 業 利 益 率	6.4	6.5	6.4	4.2	4.6	7.4	-
そ の 他	売 上 高	682	892	698	939	1,110	1,300	+ 90.4
	営 業 利 益	10	31	29	94	100	70	+ 546.4
	営 業 利 益 率	1.6	3.6	4.3	10.0	9.0	5.4	-
合 計	売 上 高	43,173	45,981	51,470	55,991	59,500	57,000	+ 32.0
	営 業 利 益	2,495	2,738	3,001	2,254	2,610	3,800	+ 52.3
	営 業 利 益 率	5.8	6.0	5.8	4.0	4.4	6.7	-



## 1 1 - 3 . 中期経営目標 (国際展開)

(単位：百万円)		H15/3	H16/3	H17/3	H18/3	H19/3 (予想)	H20/3 (計画)	5カ年 増減%
海 外 売 上 高	(アジア)	4,717	5,094	6,237	7,233	8,720	8,480	+79.8
	(南北アメリカ)	972	754	648	763	790	780	19.8
	(ヨーロッパ)	486	314	328	456	340	280	42.5
	(その他)	395	387	366	345	420	460	+16.2
	(合計)	6,572	6,550	7,580	8,797	10,270	10,000	+52.1
連結売上高 に占める 海外売上高 の割合	(アジア)	10.93	11.08	12.12	12.92	14.65	14.90	-
	(南北アメリカ)	2.25	1.64	1.26	1.36	1.32	1.40	-
	(ヨーロッパ)	1.13	0.69	0.64	0.81	0.58	0.50	-
	(その他)	0.92	0.84	0.71	0.62	0.70	0.80	-
	(合計)	15.22	14.25	14.73	15.71	17.26	17.50	-
連 結 売 上 高	43,173	45,981	51,470	55,991	59,500	57,000	+32.0	



# 1 2 . 組織体制

< 関係会社 >

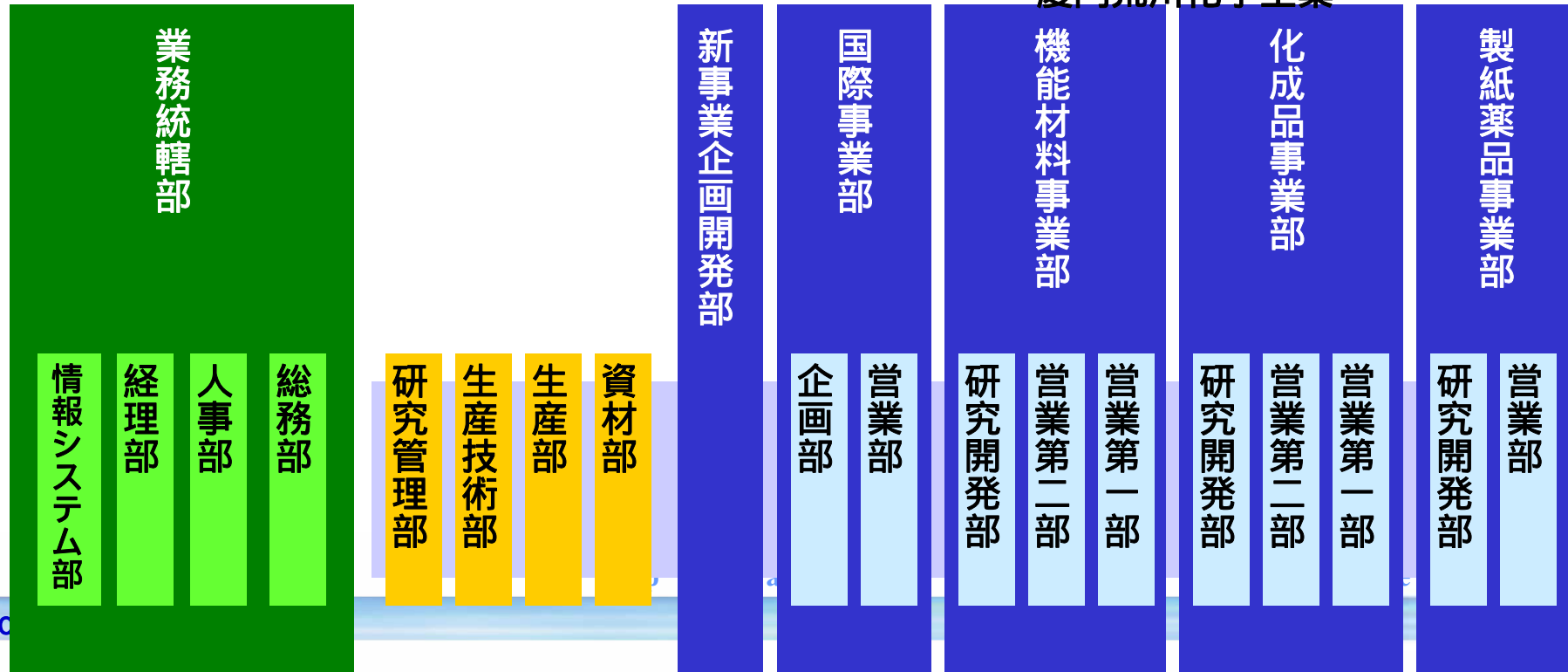
ARAKAWA CHEMICAL  
(THAILAND)  
ARAKAWA Europe

< 駐在員事務所 >  
台北駐在員事務所  
上海駐在員事務所

< 連結子会社 >

南通荒川化学工業  
 高压化学工業  
 日本ペルノックス  
 広西荒川化学工業  
 台湾荒川化学工業  
 梧州荒川化学工業  
 ARAKAWA CHEMICAL(USA)  
 カクタマサービス株式会社  
 HONG KONG ARAKAWA  
 CHEMICAL  
 廈門荒川化学工業

経営企画室  
 品質環境保安室  
 監査室



## 13 . ロジンの変遷と荒川化学の取り組み

明治 9年 (1876)	創業、生薬商としてロジン (松脂)、テレピン油などを販売
大正 3年 (1914)	中国産松脂などからロジンの生産開始
大正10年 (1921)	中国松脂精製工場 (浙江省温州府) に協力 (設備貸与など)
昭和10年 (1935)	日本のロジンの国内消費は約2万5千トン (90%が米国からの輸入)
昭和16年 (1941)	太平洋戦争開戦、米国の対日輸出制限、中国産松脂の輸入途絶、国内産松脂の増産
昭和22年 (1947)	日本のロジン輸入再開
昭和29年 (1954)	トール油ロジンの製造を開始
昭和39年 (1964)	日本のロジン輸入シェア 中国20% 米国53%
昭和42年 (1967)	日本での国産松脂からのロジンの生産中止
昭和49年 (1974)	日本のロジン輸入シェア 中国83% 米国11%
平成 7年 (1995)	トール油ロジンの製造を中止 梧州荒川化学工業有限公司の設立 (ロジン製造会社との合併)
平成15年 (2003)	ロジン世界生産量114万トン (中国55万トン) 日本輸入量7万トン (中国95%)
平成16年 (2004)	広西荒川化学工業有限公司の設立 (ロジン及びロジン誘導体などの製造)